

学校関係者評価委員会の会議録（最終回）

会議名	第5回学校関係者評価委員会
開催日時	令和6年5月20日（月）午後2時から午後3時
場 所	弘前厚生学院 記念館「客室南」
出席者 ※敬称略	<p>1. 委員定員5名</p> <p>1. 出席委員（計3名） 福井敏隆（委員長）、大浦雅勝、小山加世子</p> <p>2. 学院側出席者（計2名） 学院長 鳴海春輝、事務局長 大森寛</p>
欠席者	平沢一臣、成田奈緒子 ※委任状提出
配布資料	令和5年度自己評価結果表、自己評価に伴う自由記述 令和5年度卒業進路状況報告書 弘前厚生学院閉校のご挨拶
学院長 挨拶	冒頭、鳴海学院長から本日の挨拶があり、令和6年度閉校することになった経緯等について説明を行った。
委員長 挨拶	福井委員長が挨拶を行った。
会議の内容 ※要点記録	<p>1. 役員改選 大森事務局長は、今期委員の改選期となっているため、現委員に再任を依頼するとともに、欠員1名（学生保護者）の後任候補として成田奈緒子氏を推薦した。役員改選については、全員異議なく承認した。 また、出席委員の互選によって福井委員長が再任された。</p> <p>2. 報告事項 令和5年度卒業生の進路状況 委員長は、次第の令和5年度卒業生の進路状況について事務局に説明を求めた。 大森事務局長は、会議資料の令和5年度卒業生の進路状況について説明を行った。</p> <p>3. 報告事項 学校評価（自己評価） 委員長は、次第の学校評価（自己評価）について鳴海学院長に説明を求めた。 鳴海学院長は、会議資料の令和5年度学校評価（自己評価）結果表、記述について説明を行った。</p>

会議の内容
※要点記録

～ 出席委員からのご意見等 ～

(大浦委員)

- ・閉校に伴い、最後の学生が今後とも誇りをもって卒業していけるようサポートが必要だと思う。
- ・閉校に伴い、在勤している教職員もモチベーションが下がらないようにフォローアップしてもらいたい。

(小山委員)

- ・母校がなくなることさみしく感じる。
- ・今後も卒業生の一人として、保育の現場で働いていくことで地域おける弘前厚生学院の役割を果たしていきたいと思っている。

(福井委員長)

- ・弘前厚生学院が令和6年度で閉校しなければならないことを残念に思う。これまで保育や介護福祉の分野に多くの人材を輩出し、現場活躍されている卒業生や教育指導に携わられた先生方に敬意を表したい。

(質問1)

学校評価の記述にある「今年度は教師の指導力不足…」
これについては具体的にどのようなことなのか？

(回答1)

大森事務局長から、令和5年度に介護福祉科で起きた事態について説明を行い、最終的に学院として解決に取り組み、学生側、教員側それぞれに対して、必要な措置を講じたことを報告した。

(質問2)

東奥日報で報道された、能登半島震災に学院からのボランティア参加することになった経緯について？

(回答2)

大森事務局長から、本学院の「愛と奉仕」の教育理念に基づき、学院のボランティア活動の集大成として、介護福祉科男子学生1名と大森の計2名が応募して、能登半島震災のボランティアに参加してきたことを報告した。

委員長は、本日の委員会のすべて終了したので閉会することを伝えた。

最後に、大森事務局長から本委員会は、令和7年3月の閉校とともに自然解散となることを確認した。